

Mマガジン・サポーター (店舗情報の詳細は「音楽好きな友の会」公式サイトにてご確認ください)

●公共機関

- ・区役所
・会館
・会館
・会館
・郵便局
・郵便局
・郵便局
・郵便局
・放送局
・音楽教室
・ワインバー
・カラオケスナック
・花屋
・鉄板焼
・ヘアサロン
・カフェ
・果物
・パン
・コーヒー専門
・イタリア料理
・音楽教室
・音楽教室
・コインランドリー
・理容室
・接骨院
・ヘアサロン
・デザイン制作
・カフェ
・時計・貴金属

●元住吉西口(ブレイメン通り/井田中ノ町商店街通り)

- ・介護センター
・お茶
・鍼灸院
・cafe+cake
・ファーストフード
・介護センター
・古本・CD
・整骨院
・調剤薬局
・飲み喰い処
・イタリア料理
・STEAK
・不動産
・旅する珈琲屋
・Gステーション

●元住吉近郊

- ・喫茶室
●武蔵小杉近郊
・紅茶専門店・喫茶室
・蕎麦店
・珈琲店
・喫茶店
・喫茶店
●東横線沿線
・調剤薬局
・写真
・レストラン&バー
・調剤薬局
・カフェレストラン
・ジャズ喫茶

中原区役所5Fなかはらっば 中原区小杉町3-245 Tel.044-744-3113
川崎市国際交流センター 中原区木月祇園町2-2 Tel.044-435-7000
川崎市生涯学習プラザ 中原区今井南町28-41 Tel.044-733-5560
かわさき市民活動センター 中原区新丸子東3-1100-12 Tel.044-430-5566
川崎井田郵便局 中原区井田中ノ町25-1 Tel.044-766-9724
川崎ブレイメン通郵便局 中原区木月1-31-5 Tel.044-455-1800
川崎木月郵便局 中原区木月住吉町11-12 Tel.044-411-9800
川崎木月大町郵便局 中原区木月大町11-17 Tel.044-722-3617
かわさきFM 中原区小杉町1-403 武蔵小杉タワープレイスTel.044-712-1791

SouleaveMusic School 中原区木月伊勢町10-1三起ビル302 Tel.044-750-8992
24 Wine&Coffee Stand 中原区今井南町37-13-101 Tel.044-573-3437
ROCOO 中原区今井南町37-13-102 Tel.044-733-7777
Bianca 中原区木月1-26-19 Tel.044-422-7015
ゆうさ亭 中原区木月1-28-16 Tel.044-434-6999
キャメルヘアデザイン 中原区木月1-32-10 中嶋ビル1F Tel.044-872-7375
水谷珈琲 中原区木月1-32-16 1F Tel.044-577-4288
フルッチョ 中原区木月1-35-1 Tel.044-433-3338
リップル 中原区木月3-10-20 Tel.044-863-6554
MUI (旧もとえ珈琲) 中原区木月3-13-2 Tel.044-767-1368
オステリア ボッカーノ 中原区木月3-17-16 新井ビルB1F Tel.044-411-1003
島倉 学ミュージックスクール 中原区木月3-35-1ART FLATS B1F Tel.044-567-5490
有楽堂日吉ミュージック・センター 中原区木月4-31-7 Tel.044-411-5701
マンマチャオ元住吉店 中原区井田中ノ町4-1 メゾンアッシュTel.0120-027-217
Hair Salon Airs 中原区井田中ノ町5-3 関根ビル1F Tel.044-755-0273
井田名倉堂・梁山接骨院 中原区井田中ノ町6-27 Tel.044-766-0850
波照間 中原区井田中ノ町8-1 Tel.044-797-5692
アルケファクトリー 中原区井田中ノ町8-43 Tel.090-4362-5413
フォレストコーヒー 中原区井田中ノ町33-1 Tel.044-754-1156
つどとけいてん 中原区井田中ノ町33-2 Tel.044-766-6022

みずたま介護ステーション元住吉 中原区木月2-2-3 メゾンミール元住吉 Tel.044-430-6963
金子園 中原区木月2-2-36 Tel.044-411-5877
和式整体&整心の「響氣」 中原区木月2-3-35 住吉名店センター401 Tel.044-433-2880
Baloo(バルー) 中原区木月2-7-8 健庄ビル1F Tel.044-789-9625
モスバーガー元住吉店 中原区木月2-10-2 Tel.044-411-5979
ツツイ 中原区木月2-8-5MKビル1-B Tel.044-431-0027
凸と凹と 中原区木月2-10-3
オズ整骨院 中原区木月2-11-12 Tel.044-740-9100
綱島街道薬局 中原区木月2-16-10 Tel.044-750-0374
粋い仙ん 中原区木月2-20-47 Tel.044-411-8980
自在屋 中原区木月4-10-6 Tel.044-433-5644
ステーキグラム元住吉店 中原区木月住吉町7-7 Tel.044-433-4129
福街不動産 中原区木月祇園町12-1 Tel.044-750-0409
cafe OrangeBlue 中原区木月住吉町7-48-101
ENEOSダイヤ商事 中原区木月住吉町21-1 Tel.044-411-5863

シンフォニー 川崎市幸区矢上11-1 Tel.044-599-3499
Tea House ローズマリー 中原区小杉町3-70-4 ホーユパレス1F Tel.044-733-1076
そば あさひや 中原区小杉御殿町2-42-7 Tel.044-722-1768
Cafe TEMO(テモ) 中原区上小田中6-1-5 Tel.044-755-8234
Coffee Spot Life(ライフ) 中原区上小田中6-22-13 Tel.044-722-0024
ジョブ カフェハット 中原区新城1-16-12 Tel.044-788-0116
駒沢通り薬局 東京都目黒区中央町2-40-8 Tel.03-6412-7318
PHOTO SHOP 銀嶺 東京都港区六本木7-8-4 Tel.03-3408-5406
Public House びあにしも 川崎区小川町16-15ヒロサワビル103号Tel. 044-201-1668
オレンジ薬局川和町店 横浜市都筑区川和町1218-1F Tel.045-929-1005
カンファーマ・ツリー 横浜市中区海岸通1-1横浜貿易協会ビルTel.045-211-2200
マシュマロ 横浜市中区山下町214 巴里堂ビル2F Tel.090-2202-3294

※上記サポーター記事は無料です。

M
MAGAZINE

M
MAGAZINE
●Motosumiyoshi●Music●Mate●Meet●Memories

元住吉の気軽な音楽会



音楽好きな友の会
http://ontomo.jp/
後援:「音楽のまち・かわさき」推進協議会
公益財団法人 川崎市国際交流協会
人形劇団ひとみ座 / rk-factory

2020
11 November
月号

音友レコード倶楽部

レコードコンサート開催。

Light Music

「軽音楽ファンの集い」

Jazz Date

「ジャズファンの集い」

合同開催!!

11月14日(土)

13:00開場、13:15開演

参加費:¥1,500

川崎市国際交流センター

レセプションルーム

★筆記用具は、感染予防の為各自でご用意ください。
★マスクをご持参ください。
★入室前に、手のアルコール消毒をお願いしています。

村上進(むらかみすすむ): スチールギター奏者。学生時代にハワイアンバンドに誘われウクレレとスチールギターを担当しビヤガーデンやダンスホールで演奏。社会人になって休止し数年前にスチールギターを再開。老人ホームやハワイアンレストランで演奏中。ハワイアンには欠かせない楽器ですが弾く人が減少し聞く機会も無くなってしまい、スチールギターの優しい音色を少しでも多くの方に知って欲しい、ジャンルはハワイアンに限定せず懐メロ・ムード歌謡、ポピュラーソングを季節ごとに選曲し、一つ一つの音を大切に弾くことを心がけて演奏しています。

Photo: Yoshiro Yasuda

発行人塚田親一 発行:音楽好きな友の会 川崎市中原区木月2-21-32 TEL:090-9398-2889

2020-10-16-800Pinning RK

連載14 そして音楽の旅は続く

デビュー曲は、「歌は世につれ」に。

今の時代、デビューするだけなら簡単そうですね。スマホやパソコンなどのデジタル機器を使えば自宅でも録音できるので、それをYouTubeやネットで拡散すればもうデビューです。あるいは音源をパソコンでCD-Rに焼いて手売りしたりインディーレーベルで発売してもデビューできますね。しかし私の若い頃はデジタルの環境が無かったので、デビューといえばメジャーレーベルでの発売しかありませんでした。デビューすることはたいへん難しいことだったので、今の時代は選択肢が増えてとにかく発信できるので羨ましいと思います。

さてさて私は19才の頃、N.S.P.さんのレコーディングにお邪魔していました。いつもエビキュラスの中を徘徊してたから遊びに行ったという方が正しいのかも。ちょうど天野滋さんの唄入れ(唄だけを録音すること)をやっていました。N.S.P.さんとは担当ディレクターが同じだったので、天野さんにも親切にさせていただいていました。たまたまその日の天野さんの新曲と歌声を聴いて「ぐっ」ときちゃって、私もこの曲を唄いたいと



▲1976年「歌は世につれ」徳間音工HARVEST RECORDS

思いました。天野さんに感じたままを伝えたら「唄っていいよ」って、あの笑顔で言ってくれました。もちろんディレクターも大賛成です。簡単とか安易とかいうのではなく、自然なままに引き寄せられた感じで、嬉しくてじーんときました。私のデビュー曲はこういう経緯で、作詞・作曲・天野滋、歌・西郡葉子「歌は世につれ」に決まりました。残念ながら天野さんは52才の若さで他界され、その才能が惜まれます。おじいさんになった天野さんの詞の世界を見たかったなあ。N.S.P.のコンサートではいつも最後に唄っていた大切な曲を提供してくれて、感謝の気持ちでいっぱいです。そして「ヒットしなくてもいいから名曲でデビューをしようね、一生つ

ジャズボーカリスト 星乃けい

official website https://www.hoshinokei.com

いて回る曲だからね」と言ってくれたディレクターの故・萩原さんにも、もっと感謝を伝えておけばよかったと後悔ばかりです。さて私は名前を本名の西郡葉子に戻し、1976年に「歌は世につれ」徳間音工HARVEST RECORDSからデビューしました。併せて、弾き語りのスタイルで活動するため事務所はギターを用意してくれました。いや～素晴らしいギターで驚きました。押しつけがましさをない貝の模様、ちょっと太めのネックが気持ちいい、響きも天下一品さすがYAMAHAの高級なオーダー品!ちょっと重たいのが難ですが、このギターと一緒に日本中を廻って天野さんの「歌は世につれ」を唄いました。



Kei Hoshino 2005年12月14日、ジャズシンガーとして希望のリーダーアルバム「LINEARNESS OF YOU/星乃けい」、2006年12月20日「IN A SENTIMENTAL MOOD/星乃けい」をリリース。ジャズファン、ジャズメン、オーディオファンから高く評価支持される

音友レコード倶楽部」はレセプションルームの広い会場で開催。軽音楽ファンの集い「Light Music」&ジャズファンの集い「Jazz Date」は暫くの間月1回開催。



月2回開催しているレコードコンサート「軽音楽ファンの集い」(Light Music)&ジャズファンの集い「Jazz Date」は暫くの間月1回「軽音楽とジャズを聴くプログラム」に変更して開催しています。デジタルには刻まれていない優しい音をレコードのアナログサウンドで探して見

・日時:11月14日(土)13:00開場/13:15開演/17:00閉会
・場所:川崎市国際交流センター・レセプションルーム
・住所:川崎市中原区木月祇園町2-2 電話044-435-7000
●レコード倶楽部コンサートの問い合わせ
※「非通知設定」には対応不可。ontomo.jp 検索
090-9398-2889 (担当:塚田)
音楽好きな友の会 http://ontomo.jp/

川崎市国際交流センター

- 中国語による国際理解講座
テーマ「最近の中国ドラマとその社会現象」
日時:11月7日(土) 10:00~12:00
受講料:550円/定員:25名(先着順)
●災害時通訳ボランティアセミナー
「災害時の外国人支援、対応方法」
日時:11月14日(土) 14:00~16:00
受講料:無料/定員:25名/締切日:11月7日
●災害時多言語支援センター設置訓練
「避難所を想定した外国人市民への聞き取りなど、ロールプレイング」
日時:11月29日(日) 9:30~12:00
受講料:無料

※申込方法共通:HP申込フォーム、メール、電話、FAX、来館

音楽好きな友の会「軽音楽ファンの集い」、「ジャズファンの集い」は...
日時:11月14日(土)13:00開場/13:15開演/17:00閉会
場所:川崎市国際交流センター・レセプションルーム

★軽音楽とジャズを聴く鑑賞プログラム内容★

「Light Music」(軽音楽ファンの集い) ポップシンガーのスタンダード・ナンバー特集

1950年代以降、ロックンロールから派生したポピュラー音楽をポップミュージック、あるいはポップスと表現し、それらを歌う多くのポップシンガーがおりました。彼らが歌う曲の多くは若者向けのヒットチャート狙いで、日本人シンガーもよくカバーしたものです。一方、ポップシンガーといえどもアメリカの伝統であるスタンダード・ナンバーのアルバムを作りたくなるシンガーが結構おりました。ジャズシンガーではない、彼らのちょっとジャジーなアルバムを特集します。誰のどんなアルバムかは当日のお楽しみ!



▲What's New/ Linda Ronstadt & The Nelson Riddle Orchestra

「Jazz Date」(ジャズファンの集い) ミルト・ジャクソンのソウルフルな世界

ヴィブラフォンの巨匠、ミルト・ジャクソン。今回はMJQ以外のアルバムにスポットを当て、彼のリーダー作のみならずサイドマンとしての参加盤も含めた作品の中から選りすぐりの6枚を特集します。クインテット演奏からビッグバンドまで、そしてライブ盤、ジョン・コルトレンやレイ・チャールズとのコラボ盤等、バラエティーに富んだ色々な年代のアルバムを揃えました。それらの中から聴き応えたっぷりの1曲ずつを紹介していきます。ミルト・ジャクソンと共に皆さんでソウルフルな45分間のJazzTimeをじっくり楽しみましょう。



▲Soul Meeting/ Ray Charles & Milt Jackson



▲川崎市国際交流センター・レセプションルームで開催

レコードコンサートからのお知らせ

音友レコード倶楽部のコロナウイルス感染防止対策
3密を避けて空間に余裕のある川崎市国際交流センター・レセプションルームで開催しています。受付に設置してある消毒液、体温計、健康カードの記入など皆様のご協力とご理解をお願いして開催しています。また参加の皆様にはマスクの着用と個人持参の筆記用具を使用させていただく様にお願いしています。

島倉 学ミュージックスクール

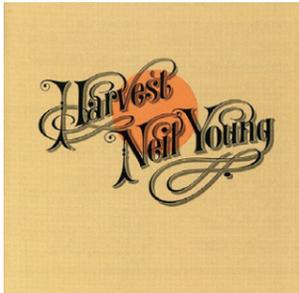
驚くほど歌い方が上達する 「島倉 学メソッド」
歌が人生を変える 音楽は決して貴方を裏切らない

島倉 学ミュージックスクール

プロ志望専門ヴォイス・トレーニング
30分無料体験レッスン実施中!
【レッスンスタジオ】元住吉西口 徒歩5分
島倉音楽スタジオ
〒211-0025 神奈川県川崎市中原区木月3-35-1 ART FLATS B1F(106号)
【お問い合わせ】
島倉音楽事務所 営業日:火曜~土曜 12:00~21:00
代表 島倉 学 定休日:日曜・月曜
TEL 044-567-5940
Mail: info@ms-musicschool.com
HP: http://www.ms-musicschool.com/

## デザイン・スキルを磨くため、弟子入り。

神山 昇



▲10曲中7曲はカントリーの聖地、ナッシュビルで録音されたカントリー調のアルバム。「孤独の旅路」は全米No.1に。

1972年、始めて食べたケンタッキーフライドチキン。始めて食べたサブウエーのハンバーガー。アメリカの食文化が一斉に乗り込んで来た頃です。デザイン・スキルを高める契機が来ました。

自分なりに仕事は始めてみたもののやはり自己流では専門的な事がわからない。今のままではメジャーな仕事ができないと悩んでいたところ、声がかかりました。

広告のデザイン界では名の通った

プロダクションにいた大学の先輩でした。独立するからアシスタントにならないかと。今こそチャンスとばかり、仲間を無視して、弟子入りしてしまいました。

小さくても憧れの青山1丁目、ビルのワンフロアに、何処もかしこも真っ白なモダン極まりない事務所がありました。忙しく、就職第一日から徹夜。最初にお目にかかった仕事は名車(プリンス・スカイライン)のポスター。いきなりメジャーな仕事に出会いましたが所詮、下働きのレベル。師匠には三角定規で小突かれながらも、夢のデザイナーに成れるとはばかり無我夢中でもあり、有頂天にもなっていました。

その時、事務所で掛っていたレコードはそのスカイライン車のCMソング「ケンとメリー〜愛と風のように〜」です。日本でこんな素敵な楽曲が出来たようになったんだなあと感心していました。

家には一日おきに帰ると言う日が続きました。久しぶりに時間が貰え渋谷のレコード屋に寄って、棚を探りました。眼に入ったのがボール紙にクラシカルなレタリングを配し、オレンジの赤い円があるだけのシンプルなジャケッ

トでした。あまりカントリーは好きでなかったため、デザインにその名残があるため躊躇しましたが馴染みの店員さんが「それ良いよ」と。家に帰って三ヶ月の風呂に入り、針を落としました。

「こっ、これって……」。まるでCMソング「ケンとメリー〜愛と風のように〜」です。なーんだ、そういう事か。盗作ではないけれど確実に元ネタでした。購入したレコードは、「ニールヤング」のアルバム「ハーヴェスト」でした。念のため「BUZZ」の時系列を見ると、やはり2年後に発売されていました。

しかし、僕らは真似を馬鹿には出来ません。若手のデザイナーは皆、アメリカの有名なデザイナーを見よう見まねで真似します。そして、自分のものにする技を磨くんです。音楽でも何でも、良いなどと思ったなら真似から入る。個人的な意見ですが、それは創作の常套手段と言えるんじゃないでしょうか……。

この「ニールヤング」には後日談があります。縁が在ったのでしよう。始めて一から任された仕事が、「ニールヤング」東京公演のポスターです。もちろん招待状で特等席で……、本人と目と鼻の先で会えたくて。 (つづく)

## デクスター・ゴードンが朗々と吹くテナーは4ビートに首ったけ ジャズ喫茶にお似合いですね。

長谷部 徹



▲①GO! / Dexter Gordon



▲②OUR MAN IN PARIS / Dexter Gordon



▲③GETTIN' AROUND / Dexter Gordon

もちろんライブ演奏にはかないませんが、スピーカーで聴く音楽も良いですよ。最近ではヘッドホンやイヤホンで音楽を聴く機会が増えました。ある種の音楽はヘッドホンで聴いた方が音の重なりや興行をよりリアルに感じる事ができるのかもしれない。とは言え、やっぱりスピーカーから空気を伝わって鼓膜に届く音の振動を体験すると、そのダイナミックさに勝るものは無いと思っています。

最近、素晴らしい音を聴かせてくれる喫茶店に続けて3軒行きました。まず1件目は渋谷百軒店にある「名曲喫茶ライオン」。クラシックをド迫力のスピーカーで流しています。このスピーカー、左右非対称なのが不思議ですが、パイオニアの技師が特注で作ったらしいです。クラシックファンではないのですが、このスピーカーで聴くと、特別な音に聴こえてきます。何と言うか、音が脳ミソを通り過ぎて、骨に染み入るような気がするんです。凄いです。続いて2件目は、そのすぐ近くにあるロック喫茶「B.Y.G.」。ここはギタリストの「Char」が通っていたり、地下のライブスペースでは「はっぴいえんど」が演奏していたりロックの殿堂です。最近では、コロナの影響で昼より閉店しています。訪ねた時、たまたま客が私一人だったので、先月号で紹介したオールマン・ブラザーズのライブをリクエストし爆音で堪能しました。終わった瞬間に「ブラボー!」と声をあげてしまった程でした。そして3軒目はご存じ、横浜野毛にあるジャズ喫茶「ちくさ」です。お店の面積を考えれば大きすぎほどのスピーカーがデンと居座っています。ハンク・モブレイをかけてもらったのですが、息継ぎの音やハ

イハットの響きや、レコーディングしてある部屋の空気まで全てを運んでくれるような気がしました。

どのお店もコロナ禍の影響でお客さんが減っているようです。皆さん、ついでがありましたら、是非お店に行ってみて、売りに上げて貢献しましょう。コピー代以上の感動は間違い無いです。

さて、今日はジャズ喫茶に似合うジャズマンをピックアップしました。扉を開けた時、この人のテナーが響いていたら「ジャズ喫茶にきたなあ〜」としみじみ思う事でしょう。その人とはロングトールテックスこと、身長196cmのテナーマン、デクスター・ゴードンです。見た目の通り、風格があつて、感情表現豊かに、朗々とテナーを吹きますよ。豪快なだけでなく、哀愁と優しさがあつた。大好きなミュージシャンのひとりです。では、私のお気に入り3枚をご紹介します。

まず1枚目は1962年録音「GO!」(写真①)。まず、1曲目「Cheese Cake」が良いですね。哀愁たっぷりのテーマから延々とゴードンのソロが続きます。途中ソニー・クラーク(p)のどつとつとしたソロを挟み、最後まで吹きっぱなし。ミディアムテンポの流れに乗って止めどなく溢れるアドリブは聴いていて飽きることがありません。続いて2曲目のバラード「I Guess I'll Hang My Tears Out To Dry」も

最高です。まるで女性になりきったゴードンが延々と独り言を語るような曲です。ソニー・クラークのバックも気が利いていて良いですよ。

2枚目は1963年パリで録音した「OUR MAN IN PARIS」(写真②)。ヨーロッパに移ったゴードンと同じくヨーロッパにいたバド・パウエル(p)と共演した人気盤です。「Willow Weep For Me」「Stairway To The Stars」「A Night In Tunisia」など、スタンダードが並んでいて、楽しいです。やはりバド・パウエルのソロは聴きどころで、唸り声も健在なのが嬉しいですね。

最後は1965年録音「GETTIN' AROUND」(写真③)。このアルバムの特徴はポビー・ハッチャーソン(vib)の参加でしょう。モード演奏が得意な彼がここではゴードンに寄り添い、涼しげでオシャレな伴奏をしています。特に気に入りは4曲目「Shiny Stockings」。相変わらず大らかに歌い溢れるソロを吹きまくっています。パリー・ハリスのピアノも小粋な演奏で良いですね。

1960年代前半、時代は新主流派、モード、フリー、ボサノバなどへ移って行く中、ゴードンは失われた時間を取り戻すように、ひたすらバップを演奏しました。そんな彼の演奏を我々は安心して耳にし、また愛し続けているのです。

## 音友レコード倶楽部Report Light Music & Jazz Date 2020年9月音友会の報告



### コロナに負けず!ジャズファンによる充実した午後

9月のJazz Dateはコロナ3密拡大対策も十分にされた会場で開催されました。今回は遠方の埼玉・川口から初参加でいらしてくれた方もいました。今回のJazz Date担当は筆者で、マーティ・ペイチの特集をしました。

マーティ・ペイチはショーティ・ロジャースと共にウエスト・コーストで活躍のジャズ・ピアニストですが1960年以降はスタジオ・ミュージシャンとしての活動が多くなり、アレンジャーとして様々な音楽の仕事を手掛けるようになります。今回は彼のジャズ演奏の代表作を中心に、前半はインストルメンタル、後半は歌伴を聴いていただきました。マーティ・ペイチ自身のバンドはジャズでは珍しいフレンチホルン奏者を参加

させて通常のビッグバンドとは一味違ったサウンドを作り出しています(写真①)。また、1980年代には日本人のシンガーソングライター大貫妙子のアルバム「PURISSIMA」にもアレンジを提供している事も解りました。筆者の特集に続き、参加者による「持ち寄りタイム」では、メル・トーマのヴォーカルとジョージ・シアリングのピアノの絶妙なデュオ「イル・ピー・シーイング・ユー」(写真②)でスタートし、秋風のうらなラリー・カールトンのギター、里見紀子らのヴァイオリンによるスピリチュアルな「至上の愛パート1(承認)」、名手スラム・スチュアートとメジャー・ホリーによる楽しくも見事なハミングベースのプレイ(写真③)、シェリー・マンのクインテットによる軽快なライブ

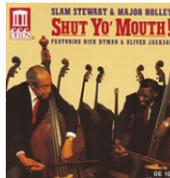
演奏から「ラブ・フォー・セール」、イタリアのピアニストのダニーロ・メモリのバンドによる「アーリー・オタム」のバラードは サックスの音色が素晴らしいものでした(写真④)。LP「Jazz West Coast Vol.5」(写真⑤)からはズート・シムズのウォームなテナーサクスが聴けました。続いて、しっとりとしたラリー・ワイリーのヴォーカルとヘレン・フォレストの歌をベニー・グッドマン楽団で、最後は弦楽4重奏クノロス・カルテットとフランスのクラシックピアニスト、ジャン・イヴ・ティボーデによるビル・エバンスに捧げた洗練された演奏を聴くことができ、今回も良質且つ充実した時間を過ごせました。(Masayuki Ohkoshi 記)



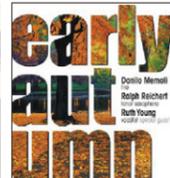
▲①The Broadway Bit / Marty Paich



▲②An Elegant Evening / George Shearing & Mel Torme



▲③Shut Yo' Mouth! / Slam Stewart & Major Holley



▲④early autumn / Danilo Memoli



▲⑤jazz west coast / Various Artists

### バックシンガーとして活躍するレスリー・スミス

9月お彼岸の4連休のなか元住吉商店街も普段と異なり平坦として人通りが少なかった様に感じられました。しかし、それに反し音友レコード倶楽部は久方ぶりに多くの方が参加され活躍でした。これもスタッフの方々が川崎市等へ広報努力した結果の賜物でしょう。今月のLight Musicは1970年代に活躍したファンクロックバンド「クラッキン」のリードボーカルであったレスリー・スミスの1stアルバム(写真①)を全曲聴いていただきました。この人はファーストソロアルバムを発表するまでも絶えず周辺の仲間と共に「レ・スミス・ソウル・バンド」、「L.A.カーニバル」、「クラッキン」といくつかのバンドを結成し、それらのバンドの中心的人物でありました。このアルバムですが、昔、六本木にあった「WAVE」という輸入レコード店でバーゲン購入した内の1枚です。初めの印象と

しては心地よすぎてサラッと聴けるLPでしたが、何回か繰り返し聴いているうちにスルメのように噛めば噛むほど味が出てきました。凝ったアレンジや「クラッキン」の元メンバーを中心としたツボを得たバック演奏を含めドツボにはまりました。これらはレスリーの甘くマイルドなテナー・ヴォイス、それを支えるメリー・クレイトンの力強い女性ボーカルがあつての事です。このアルバムはCDとしての再発が要望されていましたが、版權の関係でなかなかCD化されず、ようやく30年後の2012年に関係者の協力の元、CDとして陽の目を見る事となりました。また、1992年には2ndアルバム「Les is more」が制作されましたが、その後ソロアルバムは発表していません。現在、レスリーはマイケル・ラブ、ネット・ドヒニー、ロビー・デュプリ等名だたるシンガーのバックコーラ

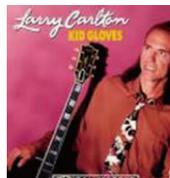
スを務め、度々来日していますが、このコロナ禍のため、今年になってからは来日していません。「持ち寄りタイム」では日本ジャズ界屈指のバイオリニスト、寺井尚子(写真②)より猛暑が過ぎ去り、木漏れ日に転寝しながら聴くと心地よい「シンキング・オブ・ユー」、ラリー・カールトン(写真③)よりアコースティック・ギターで優雅に奏でる「ミッシェルズ・ホイッスル」、そしてジャズ・ピアニストであるビル・エバンス没後40周年にちなみ、クラシック演奏者2組でクノロス・カルテット(写真④)より「ワルツ・フォー・デビー」、ジャン・イヴ・ティボーデ(クラシックピアニスト)(写真⑤)より「ユア・ストーリー」の演奏を堪能致しました。ビル・エバンスはクラシック音楽にも多大な影響を与えている人なんだとつくづく感じた次第です。(フレドリック・ジョーンズ記)



▲①Heartache / Leslie Smith



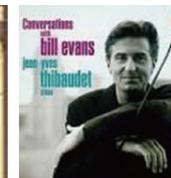
▲②ORIGINAL BEST 1998-2001 / 寺井尚子



▲③Kid Gloves / Larry Carlton



▲④Music of Bill Evans / Kronos Quartet



▲⑤Conversations with Bill Evans / Jean-Yves Thiboulet

音友レコード倶楽部 Light Music & Jazz Date 12月のお知らせ 「軽音楽ファンの集い」、「ジャズファンの集い」は、暫くの間月一回。12月12日(土) 13:00 開場/13:15 開演/17:00 閉会 川崎市国際交流センター・レセプションルーム

### 連載50 「くじら座」日記

### 我武者羅

果たして、「世の中そんなに甘くない」ものなのだろうか。それは、物事が上手くいかないときや、壁にぶつかったときに、私たちがまるで呪文のように浴びせられる言葉だ。かく言う私は、決して周囲を優しいものだと感じ切っているわけではないが、自らが挫折した経験を持ち返ると、たいいていその原因は世の中ではなく、「自ら」にあったと思っている。

20歳の頃、ただひたすら我武者羅にライブをしていた私は、周囲の方々からの助け舟によって、様々な舞台に立たせていただくことができた。それらはどれも、当時の私の実力を越えた、大きな機会だった。きっと、若さゆえに血走った私の眼差しに対する、周囲の方々からの「期待の先行投資」だったのだと思う。

結論として、私はどのチャンスにも応えることができなかった。当時の私

には、トップの世界で聞えるほどの力がなかったからだ。誰のせいでもない。自らの立ち位置を受け入れるしかない結果に、私は何度も挫折した。そして、そんな私に追い討ちをかけるように、「私には才能なんてないよ」と、語る一流のインタビューを見ては、心を潰される感覚を抱いた。しかし、心振り返ると、私にそう感じさせることこそが、周囲が私に期待したことだったのかもしれない。歌は、いつでも等身大だ。その人が持つ生命力が、そのまま正直に声に出る。当時の私に足りなかったのは、その深みだった。

新型コロナウイルスの影響から、かつての楽しみは奪われて、精神的にも不衛生な日々が続いている。音楽は、なければ命を落としてしまうものではないが、落ちかけた命を助けることができるのも、また事実だ。流行をつくるのは、画面越しに耳で聴いてすぐ楽し



める音楽かもしれない。しかし、私たちが追い詰められてしまったときや絶対絶命なときに、心の支えになるのは、厳しさも優しさも知る、深みのある歌声であるはずだ。

いつの時代であれ、世の中が厳しいのではない。自分が、どれだけ真剣に、思慮深くなれるか。すべての命運は自分自身が握っている。数々の失敗を重ねてきた私にとって、僅かなりとも期待をかけてくれた周囲の方々へ恩返しをするなら、今しかない。「自分に厳しく、人に優しく」。今こそ、そんな当たり前に立ち向かっていくつもりだ。

## MOTTON CLUB

地域の、全国のミュージシャン、そして音楽活動に関わるあらゆる人をネットワークしたい。演奏の場を創り、ライブと楽曲の発信を積極的に活動していくことが目的です。元住吉から発信して行きます。アーティスト・メンバー募集!!



モットンクラブのアーティストメンバーの動画UPが始まりました。「音楽好きな友の会」の姉妹グループでライブ演奏をメインに活動を始めた「モットンクラブ」のアーティストメンバーに登録され、「YouTube」掲載動画をmottonclub.comからも発信を始めました。また未登録の方で掲載希望のアーティストの方も含んでいます。

https://mottonclub.com/

### 連載31 Course: Addicted to Guitar スウィープピッキングに挑戦

永瀬 晋

お世話になっております。今月もまたギターを始めたばかりの方にお勧めなギター小ネタをソウリーヴ・ミュージック・スクール永瀬がお送りいたします。

今回はまた新しいシリーズ「スウィープピッキング」のご紹介。まずは「スウィープピッキング」とは何ぞやという話なので、説明していきます。

ギターという楽器は6本弦の楽器ですが、1弦から6弦まで順番にピッキングする際に、ごく一般的にはアップピッキング、ダウンピッキングを使いますが、今回紹介する「スウィープピッキング」では1弦から6弦に向かって引く場合はアップピッキング一回のスト

ローク、その逆で6弦から1弦の場合にはダウンピッキング一回のストロークで弾きます。

こうすることでギターでは難しいとされる弦をまたくピッキングを簡易にして、スピードを出すことが出来ます。

文字だけではよくわからないと思いますので、このピッキングパターンで弾くことで、相当なスピードを出すことが出来ます。

右手の動きとしては「腕の動き」「手

首の動き」「親指の屈伸」を駆使しています。

youtubeに自分のレクチャー動画もアップしておりますので、是非こちらもあわせて見てみてください。

また音友会の姉妹組織mottonclubにも動画をUPしております。https://mottonclub.com/

まずはこんな感じでまた次回!



ソウリーヴ・ミュージック・スクール Souleave Music School http://souleave-music.com/

元住吉駅徒歩3分・武蔵小杉駅徒歩13分 チケット制 音楽教室 Tel. 044-750-8992 AM8:00 / PM22:00start